## 南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート □ 新規 ☑ 継続 . \_\_\_ ( 事業 委託 補助用) \_\_\_\_\_

· +	<del>=</del> -=	<b>\</b>	3-7K XHU	1110-73	, ,,						
I 基本	<u> </u>						整理	番号	437		
事業名	就学	· 八学祝金		予	会計	一般会					
Ŧ <del>*</del> '	376 7	- / ( <del>T</del>  /L M		算	款	民生費	生費・3款				
担当部課名	健康	福祉部 少子対策課		科	項	児童福	祉費·2	項			
電話	0799	9 - 44 - 3040		目	目	少子対	策費·7	目			
事業分類		義務的(法定)事務	法的根拠								
争未刀积	<b>✓</b>	任意的(自治)事務	(法令、条例、要	更綱等)	<sub>岡等)</sub> 南あわじ市入学祝金支給条例						
		まちづくりの柱	安らぎづくり	元気あん	<u> ふれ</u> {	主んで忖	・適なま	ちづくり	_		
南あわじ市総		まちづくりの目標	子どもを産みたい育てたいまち【子育て】								
施策体系	Ŕ	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活							ょ	
心來自信			う、地域全体で支える								
該当する	施策的事業		業	务委託		負担	金補助				

## Ⅱ Plan (計画、事業内容、事業背景)

Щ	Piai	【前圆、争未闪台、争未自泉/
		対象(誰を・どのような状況の人に)
		小学校、中学校、中等教育学校及び特別支援学校の小中等部の第1学年に対象人数(人)
		入学する児童生徒の保護者で、当該年度の4月1日現在において市内に住所 を有する者。 960
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)
		<b>息 凶</b> (とのような状態になってもらいだいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)   児童生徒の健やかな成長を祝い、健全な子育ての増進に資するとともに、「ふれあい地
	的	対振興商品券」での給付により、地域商工業者の活性にもつながるものである。
車		(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)
7		対象者に対して1万円分の「ふれあい地域振興商品券」を給付する。 平成19年度は各校区総合窓口で現金給付を行った。また、平成20年度から「ふれあい
業	実	地域振興商品券」での支給に変更し、対象者へ配達記録にて郵送した。平成21年度から
107	施	は、配達記録が廃止されたため、簡易書留にて支給している。
概	内容	
要		
		(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 合併以前から各町がそれぞれの通学助成等を実施してきたが、合併後に入学祝金給付事
		古所以前から台町かてれてれの選字助成寺を実施してさたが、古所後に八字帆並給竹事   業に統一した。
	背	
	景	
	示	
		<b>業実施主体</b> ✓ 市直営 ✓ 民間・その他 ( 事業期間 ← 平成 年度 ← 平成 年度 ✓ 設定なし
۵	•	<b>事業期間                                     </b>
合併協:		旧緑町 □ 旧西淡町 □ 旧三原町 □ 旧南淡町 □ 旧広域事務組合 ☑ 新市から
協		THE WAS TRANSPORTED TO AND THE PARTY OF THE WAS TRANSPORTED TO AND THE PARTY OF THE
議事		
務		
調		
務調整内		
容		

Ⅲ Do(事業活動・成果、投入資源・コスト)

	川 DO(事業活動・成果、投入資源・コスト)								
		指標名	就学入学祝金				指標単位 千円		
		指標説明 (指標算出 方法等)	就学・入学 <sup>:</sup>	·					
事	業に対する		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
自	標の設定	目標値	1,043	9,710	9,600	9,600	5,000		
		実績値	989	9,448	·		,		
		達成度 (%)	94.8	97.3	96.4	_	_		
		目標値設定 の考え方	た。		ていたが、平成				
				平成20年度		平成22年度	平成23年度		
	直接事業	費 (千円)	10,430	9,710	9,700	9,790	4,450		
	報償費		10,430	9,710	9,700	9,790	4,450		
資	財	原 (千円)							
源		五 (117)							
配分									
カ		·····································							
7		·i貝 D他							
ン		が他 才源[A]	10,430	9,710	9,700	9,790	4,450		
プ		<u>ガルス[A]</u> 成員)[B] (千円)	753	698	705	9,790	4,430		
ッ		版具/[D] (エロ) 遺(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4		
١	事業量1(事業	` ,	25	27.9	25.2	27.4	27.4		
)		に要した口数)	25			20	∠5 1		
	事業里 2 (事業 年間経費		11,183	1 10,408	1 10,405	10,475	5,135		
	「目的」対象人数1/		11,648.4	10,841.1	10,838.5	10,475	5,349.0		
	経費に関する補足説明	目標の設定 平成23年度	は実際に祝金? 中学校の入学? まで決算額。 <sup>3</sup>	を配布した金客 児金廃止のため	真。 <b>b</b> 。	10,911.0	J,J43.U		

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

<u>IV</u>	Check(事業の				次評							
		単位	平成19		平成2	0年度	平成2		平成22年	-度	平成2	23年度
	目標達成度	%		94.8		97.3		96.4		-		-
	(事業目標の達成度分						<b>—</b> n -		15 4			白
達	郵送することによ											(5己)
成	96.4%となっている。  よう呼びかけている。		食は 仏報	•	- 44-	・シで医	用期限	を記載	し、扠金派	雨イし7	かない	点評
成度	よう呼びかけている。	0										( ) 価
												4
	(住民満足度の分析、											_
	「ふれあい地域振		券」を支	給する	ることに	より、	市内の	商工業	者の活性に	<b>:</b> も:	つな	(1) 自
有	がっていると考えら	れる。										点評
効												() 価
効性												
												3
	- W/ W/ FT	単位	平成19						平成22年		平成2	23年度
	事業単価	円		,648.4		0,841.1	10	),838.5	10,91	11.5		5,349.0
	(効率性・コストの分析						: <del></del>	<u> </u>	- L - I- 4		L	白
効	平成20年度より郵	达による	5文紹に	変更し	ノ、主対	家   休   護	有にい	さわに	るようにん	よつり	こ。	(1) 自
効 率 性												点評
性												○ 価
												3
	ハサ州の京原		- I		_		ter.					3
	公共性の高低	取名州	高・サカビをひ	V E	<mark>中</mark>	三田 日本 ナン	低し					3
	(公共性、市民ニーズ		などを分	析、問	問題点·		で記入		筆ま あるた	- <i>t</i> h 2	교수나	
X	(公共性、市民ニーズ) 市の子育て支援の		などを分	析、問	問題点·		で記入		等もあるた	こめれ	<del></del> -	自己
- 必	(公共性、市民ニーズ		などを分	析、問	問題点·		で記入		等もあるた	<u></u> :めネ	呪金は	自己評
必要性	(公共性、市民ニーズ) 市の子育て支援の		などを分	析、問	問題点·		で記入		等もあるた	<b>-</b> めネ	呪金は	自己
必要性	(公共性、市民ニーズ) 市の子育て支援の		などを分	析、問	問題点·		で記入		等もあるた	<b>-</b> めネ	呪金は	自己評
必要性	(公共性、市民ニーズ) 市の子育て支援の		などを分	析、問	問題点·		で記入		等もあるた	<u></u> : めネ	呪金は	自己評価
	(公共性、市民ニーズ) 市の子育て支援の		などを分	析、問	問題点·		で記入		等もあるた	<b>こめ</b> れ	兄金は	自己評
必要性	(公共性、市民ニーズ 市の子育て支援の 必要である。	方針と育	などを分 合致して	三 分析、問 おり、	問題点·		で記入		等もあるた	<b>: め</b> 社	呪金は	自己評価
必 要 性	(公共性、市民ニーズ 市の子育て支援の 必要である。 自己評価を 子育て世帯の負担	方針と6 ぶまえ7 軽減事	などを分 合致して た現状分 業として	<u>−</u> がおり、 析は、市	別題点・計 また市	で に に に に に に に に に に に に に	ごを記入 の問い	合わせ	等もあるた	<b>こめ</b> そ	呪金は	自己評価
必 要 性	(公共性、市民ニーズ 市の子育て支援の 必要である。 自己評価を 子育て世帯の負担 子対策事業と合致し	方針とf ぶまえ 軽減事 でいる。	た 会 などを な と な で も も も は し て が に 現 状 し で に も る に も る に も る に も る に も る に も る に る に る に る に る に る に る に る に る る る る る に る る る に る る る に る る る に る 。 る に る 。 る る る る る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 る 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	<u></u>	別題点・計 また市 すの少 E95%	で に に に に に に に に に に に に に	で記入	合わせ	等もあるた	<u></u> こめネ	兄金は	自己評価
必要性	(公共性、市民ニーズ 市の子育て支援の 必要である。 自己評価を 子育て世帯の負担 子対策事業と合致し を超えており、それ	方針と記 ぶまえ 軽減事 でい 住 に に に に に に に に に に に に に	たなどして おり おり はい はい はい はい はい はい かい		別題点・市 の少 F95% Nと考	で に に に に に に に に に に に に に	ごを記入 の問い	合わせ		こめる	呪金は	自己評価
必要性	(公共性、市民ニーズ、市の子育て支援の必要である。 自己評価を子育て世帯の負担・子対策事業と合致しを超えており、それえられる。また、振	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	で に に に に に に に に に に に に に	ごを記入 の問い	合わせ	等もあるた <b>達<u></u>成度</b>	<b>こめ</b> え	兄金は	自己評価
必要性	(公共性、市民ニーズ 市の子育て支援の 必要である。 自己評価を 子育て世帯の負担 子対策事業と合致し を超えており、それ	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	で に に に に に に に に に に に に に	ごを記入 の問い	合わせ		<b>こめ</b> え	呪金は	自己評価
	(公共性、市民ニーズ、市の子育て支援の必要である。 自己評価を子育て世帯の負担・子対策事業と合致しを超えており、それえられる。また、振	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	で に に に に に に に に に に に に に	ごを記入 の問い	合わせ		<b>こめ</b> え	呪金は	自己評価
	(公共性、市民ニーズ、市の子育て支援の必要である。 自己評価を子育て世帯の負担・子対策事業と合致しを超えており、それえられる。また、振	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	で に に に に に に に に に に に に に	ごを記入 の問い	合わせ		<b>こめ</b> え	兄金は	自己評価
	(公共性、市民ニーズ、市の子育て支援の必要である。 自己評価を子育て世帯の負担・子対策事業と合致しを超えており、それえられる。また、振	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	「民から       	を記入の問い	合わせ	<b>達</b> 成度 <sup>5</sup>	こめる		自己評価 3
	(公共性、市民ニーズ、市の子育て支援の必要である。 自己評価を子育て世帯の負担・子対策事業と合致しを超えており、それえられる。また、振	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	「民から       	ごを記入 の問い	合わせ	<b>達</b> 成度 <sup>5</sup>	<b>ニめ</b> ネ	兄金は	自己評価 3
必要性終合評価	(公共性、市民ニーズ、市の子育て支援の必要である。 自己評価を子育て世帯の負担・子対策事業と合致しを超えており、それえられる。また、振	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	「民から       	を記入の問い	合わせ	<b>達</b> 成度 <sup>5</sup>	<b>ニめ</b> ネ		自己評価 3
	(公共性、市民ニーズ、市の子育て支援の必要である。 自己評価を子育て世帯の負担・子対策事業と合致しを超えており、それえられる。また、振	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	「民から       	を記入の問い	合わせ	<b>達</b> 成度 <sup>5</sup>	<b>ニめ</b> ネ		自己評価 3
	(公共性、市民ニーズ、市の子育て支援の必要である。 自己評価を子育て世帯の負担・子対策事業と合致しを超えており、それえられる。また、振	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	「民から       	を記入の問い	合わせ	<b>達</b> 成度 <sup>5</sup>	: めネ		自己評価 3
	(公共性、市民ニーズ、市の子育て支援の必要である。 自己評価を子育て世帯の負担・子対策事業と合致しを超えており、それえられる。また、振	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	「民から       	を記入の問い	合わせ	達成度 5 4 3 2 1 1	<b>ニめ</b> ネ		自己評価 3
	(公共性、市民ニーズ、市の子育て支援の必要である。 自己評価を子育て世帯の負担・子対策事業と合致しを超えており、それえられる。また、振	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	「民から       	を記入の問い	合わせ	<b>達</b> 成度 <sup>5</sup>	<b>こめ</b> ネ		自己評価 3
	(公共性、市民ニーズ、市の子育て支援の必要である。 自己評価を子育て世帯の負担・子対策事業と合致しを超えており、それえられる。また、振	方針と記 がまえ 軽減 を がは に は に に に に に に に に に に に に に	た な な な ひ し で 現 は し ま し に え に に に に に に に に に に に に に	<u> </u>	題点: の少 500 500 500 500 500 500 500 50	「民から       	を記入の問い	合わせ	達成度 5 4 3 2 1 1	<b>ニめ</b> ネ		自己評価 3

V Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
		☑ 現状維持 ☑ 休止・廃止 ☑ 事業統廃合
	□ 予算充実 ✓ 予算削減 □ 手法見直し	□ 予算充実 □ 予算削減 □ 手法見直し
今後	子ども手当制度により、中学生保護者にも	
の	充支給となっている。平成23年度中学校入学	
方	金について同じ保護者が小学校入学時に祝金	
向	支給を受けている(1人1回は祝金を受け取  ている)ため、中学校入学時の支給について	
性と	検討する必要があると考える。	
そ		
o O		
理		
由		
	中労失の入党切合を廃止し、フタイナゼロ	4
	│ 中学生の入学祝金を廃止し、子育て支援に │する事業を展開する。今年度まであった地域	
現	する事業で展開する。 / 干及な Cの / に泡ね  育て創生事業の補助金がなくなるため、次年	
具状	以降の継続事業に充当することができる。	
体維		
的持		
な以		
改外		
方場		
法合		
$\overline{}$		
	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	子育ての甲斐あって無事成長を遂げ学齢に したことを祝い小学校入学児童の保護者に祝	
	ひたここを祝い小子仪八子元重の保護首に祝  を支給することで、子育てしやすいまちとし	
改	PRでき、他市町からの定住が期待される。	
善し、		
に状		
によっ 状維は		
ラオラ		
期待の	コスト面	コスト面
+ 0	予算内で事業を実施する。	
れる効果		
効)		
未		
	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(	プラス面、マイナス面)
現		発止になれば子育て世帯への負担は大きくなる。ま
中状		ているため、支給されなかったときの反動は大きい
上維・持		れないことはないが、商工会では独自の「商い応援 極的に取り組んでおられ、急激な衰退につながるも
統の	のではないと考える。	
廃場	プラス面としては、一般財源の削減や、少	子対策に手厚い施策に対する高齢者から見た不公平
合合	感の緩和など。	
のも 影記		
響入		